

# 地域安全学会 2015年度第2回理事会 議事録

日 時：2015年7月25日（土）15：00～17：00

場 所：東京大学（本郷キャンパス）情報学環 6階 会議室

東京都文京区本郷7丁目3-1 [http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01\\_14\\_01\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_14_01_j.html)

出席者：立木茂雄、糸井川栄一、目黒 公郎、市古 太郎、稲垣 景子、梅本 通孝、大西 一嘉、大原 美保、田中 聡、西川 智、藤本 一雄、八木 宏晃、能島暢呂、村尾修

委任状：岡田 成幸、柄谷 友香、楯田 泰子、越村 俊一、松岡 昌志、宮野 道雄、庄司学、清野純史、池田浩敬、矢代晴実

欠 席：指田 朝久、秦 康範、山崎文雄

事務局：竹本 加良子、上木 美貴恵

配布資料：27-2-1 2015年度第2回理事会議事次第（立木）  
27-2-2 2015年度第1回理事会議事録案（立木）  
27-2-3-1 会員数、会費納入状況（上木）  
27-2-3-2 2015年度役員担当（立木）  
27-2-4 [参考資料]2014年度地域安全学会役員名簿案（20140516）ver3  
27-2-5 92号（2015年08月）「内容と担当者」案  
27-2-6 第37回（2015年度）地域安全学会研究発表会（秋季）のご案内  
27-2-7 第37回（2015年度）地域安全学会研究発表会（秋季）一般論文募集  
27-2-8-1 東日本大震災連続 WS 気仙沼2015 ver2(村尾)  
27-2-8-2 東日本大震災連続 WS 各種費用・調整について(村尾)

議題：

## 1. 前回議事録の確認（立木）

資料27-2-2の第1回理事会議事録（案）について、下記1点の修正点以外は、原案通り承認された。

・2ページ目 「共済は、気仙沼市、・・・」を「共催は、気仙沼市、・・・」に修正

## 2. 2015年度役員担当（立木）

2015年度役員を担当等について、資料27-2-3-2、資料2-2-4を基に検討し、次のページの通りとなった。

## 2015年度地域安全学会役員

※背景灰色の箇所：変更箇所

役職	氏名	所属	役員担当名
会長	立木 茂雄	同志社大学社会学部	
副会長	糸井川栄一	筑波大学システム情報系	総務（会員・広報）担当
副会長	目黒 公郎	東京大学 生産技術研究所	学術(研究・国際交流)担当、30周年事業担当
理事	池田 浩敬	常葉大学大学院環境防災研究科	秋季研究発表会実行委員会（正）、表彰委員会（正）
理事	市古 太郎	首都大学東京大学院都市環境科学研究科	総会・春季研究発表会実行委員会（副）
理事	稲垣 景子	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院	表彰委員会、東日本大震災特別委員会担当
理事	梅本 通孝	筑波大学システム情報系	研究運営委員会（正）
理事	大西 一嘉	神戸大学大学院工学研究科	東日本大震災特別委員会担当
理事	大原 美保	国立研究開発法人 土木研究所	研究運営委員会（副）、30周年事業担当
理事	岡田 成幸	北海道大学大学院工学研究院	総会・春季研究発表会実行委員会（副） ※保留
理事	加藤 孝明	東京大学 生産技術研究所	防災学協会連合組織担当、30周年事業担当
理事	柄谷 友香	名城大学都市情報学部	学術委員会、表彰委員会
理事	清野 純史	京都大学大学院工学研究科	選挙管理委員会（副）
理事	鎌田 泰子	神戸大学大学院工学研究科	30周年事業担当
理事	越村 俊一	東北大学 災害科学国際研究所	総会・春季研究発表会実行委員会（正）
理事	指田 朝久	東京海上日動リスクコンサルティング	
理事	庄司 学	筑波大学システム情報系	広報委員会（正）
理事	田中 聡	常葉大学大学院環境防災研究科	30周年事業担当
理事	西川 智	独立行政法人 水資源機構	国際交流委員会
理事	能島 暢呂	岐阜大学工学部	選挙管理委員会（正）
理事	秦 康範	山梨大学工学部	広報委員会（ニューズレター）、30周年事業担当
理事	藤本 一雄	千葉科学大学危機管理学部	広報委員会（Web担当）、30周年事業担当
理事	牧 紀男	京都大学防災研究所	学術委員長（電子ジャーナル（正））
理事	松岡 昌志	東京工業大学大学院総合理工学研究科	学術委員会(電子ジャーナル副部長)、広報委員会(学術委員会担当)
理事	宮野 道雄	大阪市立大学 大学運営本部	東日本大震災特別委員会担当
理事	村尾 修	東北大学 災害科学国際研究所	東日本大震災特別委員会担当（正）、30周年事業担当
理事	村上 ひとみ	山口大学大学院理工学研究科	国際交流委員会
理事	森 伸一郎	愛媛大学大学院理工学研究科	国際交流委員会
理事	八木 宏晃	静岡県交通基盤部	秋季研究発表会実行委員会（副）
理事	矢代 晴実	防衛大学校システム工学群	安全工学シンポジウム担当
監事	井野 盛夫	常葉大学環境防災学部	
監事	山崎 文雄	千葉大学大学院工学研究科	
監事	重川 希志依	常葉大学大学院環境防災研究科	

顧問

伊藤 滋	小川 雄二郎	梶 秀樹	片山 恒雄	亀田 弘行
熊谷 良雄	長能 正武	濱田 政則	林 春男	村上 處直
村上 雅也	室崎 益輝	宮本 英治	吉井 博明	翠川 三郎

3. 会計・会勢・会員管理関係（上木）

（1）会員数、未納者数の報告

2015/7/16(日)時点での2015年度の会員数・会費納入状況は以下の通りである。

会員種別	2015年 会員数	内、新規会 員数	納入済	未納	未納率	2014年 会費未納
賛助会員	1	(0)	0	1	100.0%	0
正会員	542	(29)	372	170	31.4%	54
学生会員	77	(17)	34	43	55.8%	13
総数	620	(46)	406	214	34.5%	67
割合	-		65.5%	34.5%		10.8%

※2015年度会員数に、過去2年分の会費滞納者（正会員：65名、学生会員：24名）は含まない

（2）2015年度会費の未納者について

未納者に対し、7/25に2015年度年会費納入についての督促をメールにて連絡した。メールが登録されていない、または届かなかった会員（25名）には、郵送でご連絡する。

（3）細則について

定款 第8条にある、会費の細則案を作成し、次回の理事会で確定することとなった。細則には、会費の値上げ、除名者の再入会について記載する。

なお、除名者が再入会を希望する場合は下記の対応とする。

- ・正会員の場合、2年の未納分及び当該年度の正会員の年会費を支払うことにより再入会を認める
- ・学生会員の場合、2年の未納分及び当該年度の学生会員の年会費を支払うことにより再入会を認める
- ・学生会員だったが正会員として再入会を希望する場合、2年の未納分の学生会員の年会費及び当該年度の正会員の年会費を支払うことにより再入会を認める

4. 学術委員会関係（牧）

（1）電子ジャーナル No. 26

投稿論文10編中6本が採択され、来週水曜に最終原稿をWeb上で公開する。

（2）研究発表会論文 No. 27

52編投稿があり、論文審査の結果46編が通過となった。

（3）「報告」の論文について

投稿規定では「報告」も投稿を受け付けることになっているが、「報告」の場合、査読者が評価を下げる場合がある。今後、論文と報告をわけるとどうかについて学術委員会で検討後、理事会に報告することとなった。

#### 5. 研究運営委員会関係（梅本）

報告事項なし。

#### 6. 広報委員会関係（庄司（代理：村尾））

資料 27-2-5 より、8月21日にニューズレターNo. 92のホームページでの公開をめざし、各項目の原稿作成担当者は8/14までに原稿を提出することを確認した。

#### 7. 2015年東日本大震災連続WS関係（村尾）

資料 27-2-8-1、資料 27-2-8-2 を基に、2015年東日本大震災連続WSの当日スケジュール、懇親会、現地見学会、各種費用等について報告があった。

#### 8. 国際交流関係（牧・立木）

##### （1）第4回 国際都市防災（ICUDR）

第4回 国際都市防災について下記の報告があった。

- ・開催日程：2016年10月18日～21日の4日間
- ・会場：18日・19日 クライストチャーチ／20日・21日 ウェリントン
- ・日本、アメリカ、台湾、ニュージーランド、オーストラリア、韓国の6カ国の共催
- ・プログラムコミッティメンバーとして各国2～3名が参加する。地域安全学会からは、立木会長、目黒副会長、牧理事の3名が参加する。
- ・日本側の論文のアブストラクトの査読委員（ステアリングコミッティ）の人はプログラムコミッティに一任する。

##### （2）ACUDR

次回のACUDRについて下記の報告があった。

- ・次回の主催である韓国より、11月にソウルで開催する安全安心エキスポに合わせてACUDRを開催したいとの要望があった。
- ・開催日程（予定）：11月27日 土砂災害の国際シンポジウム／11月28日 ACUDR
- ・中林先生に、27日の土砂災害関連のスピーチと28日のスピーチ（テーマ無し）に地域安全学会の会員としてご参加いただけないかお伺いする。
- ・費用は韓国が負担する。

## 9. 2015年度秋期大会関係（池田）

資料 27-2-6 を基に、2015 年度秋季大会について下記の報告があった。

- ・懇親会費について、学生会員の参加を促すため、3,000 円から 2,500 円に値下げし、正会員は 6,000 円から 7,500 円に値上げする予定
- ・秋季大会にて発行される論文集の合本 No は「No. 25、No. 26、No. 27」となる
- ・11 月 13 日（金）と 14 日（土）の秋季大会の後、15 日（日）に同じ会場で若手研究者の企画イベントが開催予定

## 10. 安全工学シンポジウムについて（矢代）

報告事項なし。

## 11. 防災学協会連合組織（牧）

報告事項なし。

## 12. 2016 年度春季大会開催地について（市古）

場所は高知（案）がある

## 13. その他

### （1）名誉会員について

名誉会員の承認方法、会費の要不要等については、中・長期的に検討する。

### （2）休会について

会員の休会は認めない。休会を希望する会員には、論文の投稿権利がなくなることを伝えたいので自主退会を促す。

次回：9 月 19 日（土） 14：30～ 東京（同志社大学東京オフィス）

代表理事 立木 茂雄



監事 重川 希志依

